

## 1 第一京浜の銀杏並木



東京都のシンボルマークともなっている扇の形をした葉が特徴的なイチョウ。第一京浜沿いには、高さ8mほどのイチョウが道路の両わきに並んでいます。落葉樹のイチョウは、秋にはあざやかな黄色の葉に変わり、雌の木には銀杏がなります。

高輪大木戸跡には、高さ10mを超える大きなケヤキがあり、ランドマークとなっています。

## 2 品川駅前 柘榴坂の街路樹



高さ15mにもおよぶケヤキを筆頭に、8mのスタジイ、7mのクスノキ、4mのマテバシイらの数種の樹木がみつらなっています。

深い緑のスタジイとマテバシイ、きれいな緑色をしたケヤキ、そして黄緑色のクスノキ。緑のグラデーションが楽しめます。

# わたしたちの街の街路樹

四季折々の表情を見せ、道行く人をなごませてくれる道路沿いの街路樹。

今回は、わたしたちの街にある街路樹にスポットをあててみました。

あなたは、いくつご存知ですか？

## 3 東禅寺前の混植街路樹



第一京浜から東禅寺に向かう道には、高さ8m、枝張り10mにも及ぶソメイヨシノをはじめ、タブノキ、イロハモミジ、ケヤキ、ヤマモモ、シラカシ、ユズリハ、ノムラモミジ、クロガネモチ、ゲッケイジュ、キンモクセイなどの高木がみられます。

いろいろな種類の木があるので、春は桜、夏はムクゲの花、秋はクロガネモチの真っ赤な実、キンモクセイの花、そしてモミジの紅葉など、四季折々の変化が楽しめます。

## 自然を観る



## 7 桜田通りの鈴懸の木並木

高さ7mほどのスズカケノキが6m間隔で植えられています。この通りは、幅が広く長いので迫力のある街路樹を楽しむことができます。

## 4 桂坂の花水木の街路樹



桂坂の高輪警察署付近にあるのは、高さ5mほどのハナミズキの並木。ハナミズキは、大正時代に東京都からアメリカに贈った桜の返礼として植えられました。4月下旬にピンクの小さな花が咲き、秋には紅葉するとともに赤い実がつくかたんなる木です。

## 8 白金高輪駅前の銀杏並木

高さ12mほどのイチョウが5m間隔で植えられています。見通しが良いので、統一感のある美しいイチョウ並木を見ることができます。

## 5 三田台公園前と東海大高輪台高校前の鈴懸の木並木



三田台公園前の200m区間と、東海大高輪台高校前の400m区間にあるのは、高さ6mほどのスズカケノキ。別名プラタナスとも呼ばれるこの木は、なめらかで白いまだら模様の幹肌が特徴です。並木道の途中には、片側がスズカケノキ、もう一方がハナミズキとサザンカの混植となっている所があり、4月下旬にはハナミズキの花、12月にはサザンカの花を見ることができます。

## 庭園美術館前の混植街路樹

高さ12mほどのイチョウと、高さ15mほどのクスノキをはじめ、マテバシイやソメイヨシノなどの木々が、街路樹と三角の緑地帯で見られます。巨樹を作る森のようなたたずまいが迫力満点です。



## 10 外苑西通りの銀杏並木

葉が青々としげる高さ12m、直径が50~80cmのイチョウが、4m間隔で植えられています。木と木の間隔がせまいうえに、周りに高い建物もないので、まるで1本のラインのように並んだ迫力のある景観を楽しめます。一転、葉が黄色く色づく秋には、通りが黄金色に染まります。



## 6 魚籃坂・伊皿子坂の鈴懸の木並木



高さ4~6mほどのスズカケノキが並木となっています。⑤に比べると本数が多く美しい並木を見ることができます。